

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

簡易版

CDP1段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。
 評価の目安
 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

CDP1（訪問看護ステーションの基本的機能・役割を知り、スタッフとして同行訪問できる）			回（月日）		
ドメイン	分類	CDP1（簡易版）	未経験	自己評価	育成者評価
		新卒・新任			
在宅看護過程	関わりの在り方と自己覚知	対象者・家族に対し自身の侵襲性を自覚し、適切な距離感を持つ必要性を理解する			
		対象者の訴えを否定せず聴き、あるがままを共感を持って受け入れ、時間を共有する			
		関係を構築することの大切さを知る			
		自身が対象者に対して抱く感情を自覚する			
	生活のニーズと主体性	対象者の生活を支えるために把握すべき情報が何かを理解する			
		対象者が主体的にできることを把握し、その背景を理解する			
	疾患の症状と生活への影響	一般的な精神症状(思考・知覚の障害、意欲低下、不安、希死念慮、怒り、攻撃、暴力、多訴、対人操作、不眠、幻覚妄想等)への対応が分かる			
		対象者の精神症状や、本人の受け止め(病感)について理解し、言動の背景・生活への影響を考える			
		対象者の身体疾患に関する情報を把握し、必要な療養上の支援方法が分かる			
	セルフケア	対象者の現在のセルフケアレベルを把握・評価し、セルフケア不足が生じた要因について考える			
薬物療法の理解と服薬管理	定時薬・頓服薬の作用と副作用を理解し、先輩の助言を得ながら観察・対応する				
危機対応	対象者の精神面、身体面の状態悪化の要因を理解・把握する 自傷他害の恐れ、自殺念慮等緊急性のある状態を発見した場合、ただちに報告し、指示にしたがって行動する				
社会資源	医師をはじめ、対象者に関わる関係職種・ケアチームを把握する				
	非薬物療法(グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等)の特徴や意味について理解する 社会福祉制度や地域の関係機関(相談支援機関や保健福祉行政など)について知る				
家族支援	対象者の家族内での役割や家族内の勢力関係、コミュニケーションの特徴等を把握する				
自己啓発・自己学習	精神科訪問看護基本療養費の届け出要件を満たす研修を受ける				
	精神保健福祉法の目的を理解する				

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

簡易版

CDP2段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。
 評価の目安
 1 『できない』
 2 『指示や確認がないと行動できない』
 3 『促しがあれば行動できる』
 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5 『できる』

CDP2（訪問看護計画に基づき単独訪問でき、報告、連絡、相談ができる）		回（月日）			
ドメイン	CDP2（簡易版）	未経験	自己評価	育成者評価	
分類	一人立ち				
在宅看護過程	関わりの在り方と自己覚知	訪問できない場合でも、別の方法で継続的な関心や肯定的なフィードバックを伝える			
		対象者と家族や関係者に関心を示し続け、両者を尊重しつつ、看護職として寄り添い、伴走者としての思いでかかわる			
		対象者・家族と適切な距離感を持つ必要性を理解するとともに、関係性を保つことの難しさを知る			
		対象者に対する自身の感情を表現し、助言を得ながら適切に対処する			
	生活のニーズと主体性	自身の実践を振り返り意味づけ、他者の助けを得て課題を明確にし、以降の実践に活用する			
		対象者・家族に関する情報からニーズを捉え、対象者の主体性が高まるよう生活に密着した支援を考える			
	疾患の症状と生活への影響	精神面へのアプローチの一環として、身体疾患のケアの重要性を理解し、必要な療養上の支援を実践する			
		対象者・家族と関わりながら精神状態をアセスメントし、希望を支える個別的な看護計画をともに立案・説明する			
	セルフケア	対象者の状態変化について、原因・きっかけに基づいて整理し、対象者ができるセルフケアについて見出せるよう支援する			
		対象者のセルフケア不足について、疾病や生活に対する認識を確認しながら、日常生活上の留意点や介入の優先順位を判断する			
薬物療法の理解と服薬管理	対象者の生活や個性に合わせた薬物療法を支援する				
危機対応	精神面や身体面の状態が悪化した際の緊急訪問の要否について相談する				
	緊急性のある状態を発見した場合、何が起きているかを判断し、応援を呼び、自立して対応する				
社会資源	ケアチームの中で連携を取り、円滑な関係を構築する				
	非薬物療法（グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等）の効果を対象者に応じて検討する				
家族支援	社会福祉制度や地域の関係機関（相談支援機関や保健福祉行政など）に対し、対象者の支援について相談する				
自己啓発・自己学習	対象者・家族それぞれの思いを率直に表出できるよう、意図的に一緒に過ごしたり別々に関わるなど工夫する				
	人権、倫理、権利擁護について学ぶ				

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

簡易版

CDP3段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。

評価の目安

- 1 『できない』
- 2 『指示や確認がないと行動できない』
- 3 『促しがあれば行動できる』
- 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
- 5 『できる』

CDP3（訪問看護計画が立案でき、状況判断に応じた24時間の対応ができる）		回（月 日）			
ドメイン	分類	CDP3（簡易版）	未経験	自己評価	育成者評価
		一人前			
在宅看護過程	関わりの在り方と自己覚知	どのような状況でも、対象者が自分の気持ちや困りごとを表出できるように、根気強くかわる			
		対象者・家族と適切な距離を保ちながら関係性を構築し、良好に維持する			
		対象者・家族・関係者ができていることや、わずかな変化に気づく			
		対象者への自己の感情を適切にコントロールしつつ、自己の強みや弱みを理解して看護に活かす			
	生活のニーズと主体性	実践の根拠や自身の反応について、自ら他者の意見を求めて振り返り、その結果を言語化して共有し、看護実践の向上につなげる			
		それぞれの関係性を踏まえた意図的な情報収集からニーズを把握し、対象者の主体性の継続を促す支援の工夫や、社会資源活用を検討する			
	疾患の症状と生活への影響	対象者・家族の希望に添えない場合でも誠実に対応し、必要な情報の開示と説明を行い、対象者の理解を確認しながら対応する			
		対象者自身が精神症状をセルフコントロールしながら、自分の力や課題、置かれている環境を意識して行動できるようかわる			
		身体疾患の状況をアセスメントし、理解度や対処能力を考慮した上で対象者と共にケアし、自立に向けた課題を明確にする			
		精神・身体の両側面から今後起こる可能性のあることを予測して対処方法を実施する			
薬物療法の理解と服薬管理	自立への課題や精神的要因を明確にしつつ、対象者の意思決定の機会を支援、回復や生活面での自立を促す看護を展開する				
	対象者・家族・関係者の思いを確認しながら、頓服薬内服のセルフケアを含めた適切な薬物療法を支援する				
危機対応	精神面や身体面の状態悪化時、緊急訪問の要否を判断する				
	緊急事態が予測された際は未然に対応し、発生時には他スタッフを指導しながら対応する				
社会資源	ケアチーム内で対等な関係を築き、共通の目標に向けて協働する				
	対象者にとって適切な非薬物療法を検討した上で、対象者・家族に説明し、活用を支援する				
	対象者の生活を支えるために必要な資源として、社会福祉制度や地域の関係機関を紹介する				
家族支援	対象者・家族の健康維持・向上や関係の改善に向けた目標を立て、根気強く介入する				
自己啓発・自己学習	他事業所との交流を通して、さまざまな支援の方法や知識を学ぶ				
	自己の看護実践を事例としてまとめ、報告する				

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

簡易版

CDP4段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。
 評価の目安
 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

CDP4（利用者の支援に関する環境整備やチーム作りができる）		回（月 日）			
ドメイン	分類	CDP4（簡易版）	未経験	自己評価	育成者評価
		中堅			
在宅看護過程	関わりの在り方と自己覚知	対象者の状態をみながら段階的にアプローチし、対象者自身を理解したうえで、自己決定ができるように関わる			
		いかなる状況であっても相互に目標を共有し、実施・評価の際に対象者らの参加を促し、関わりを続ける			
		対象者との関係性を俯瞰的にみて、後輩指導に活かす			
		実践のなかで起こる自己や他者の反応を客観的に捉えて意味づけ・言語化し、適切な看護につなげる			
	生活のニーズと主体性	対象者が精神症状・能力に合わせた生活が送れるよう、よき理解者としてかかわる			
セルフケア	身体疾患に対するケアについて、家族や多職種と協力し、対象者が実施できるよう支援する				
	対象者のセルフケア不足を補い、真のニーズを満たせるよう環境を整備する				
薬物療法の理解と服薬管理	薬物療法を対象者が納得して継続できるよう、環境を整える				
危機対応	不測の事態にも他スタッフを指導しながら対応し、客観的に状況を把握したうえで、多職種チームの采配をする				
社会資源	ケアチームと協働し、調和を図りながら課題を解決する				
	必要な関係機関等と連絡を取り、日常・緊急時を問わず、連携した対応体制を取る				
家族支援	多職種と協働しながら対象者を含めた家族の機能をアセスメントし、望ましい方向性を共に考えられるように関わる				
自己啓発・自己学習	日々の実践を通し、職場で研修・学習の機会を提供する				
	社会情勢や先行する知見に照らし、自身の看護実践を事例としてまとめ、研究として発表する				

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

簡易版

CDP5段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。

評価の目安

- 1 『できない』
- 2 『指示や確認がないと行動できない』
- 3 『促しがあれば行動できる』
- 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
- 5 『できる』

CDP5（訪問看護の質の向上に関わり、リーダーシップをとることができる）		回（月 日）			
ドメイン	分類	CDP5（簡易版）	未経験	自己評価	育成者評価
		達人			
在宅看護過程	関わりの在り方と自己覚知	対象者と看護職の相互作用を通して自律に向けた関係性を築き、次の段階・支援につなぐ			
		感情コントロールが必要な場面で教育的な役割を担う			
		看護過程を自らがロールモデルとなり、行動で示す			
	セルフケア	対象者の健康的な力を活かし、セルフケアを継続できる地域社会の実現について考える			
	危機対応	緊急事態に対応する地域ネットワークを構築し、連携を強化する			
社会資源		課題解決や協働のプロセスを通してチームメンバーの役割を評価し、ケアチームの成功した実践を一般化して共有する			
		対象者と家族や関係者が安心して楽しく過ごすことができる居場所を提供する			
		関係機関が連携して行った対応について関係者へフィードバックを行い、今後の支援に活かす			
家族支援		中堅以下のスタッフに対し、対象者・家族への関わり方の相談やサポート役を担う			
自己啓発・自己学習		これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるため、新しい知見を得たり、積極的に外部と交流する			
		看護職の看護実践を研究としてまとめるプロセスを支援する			